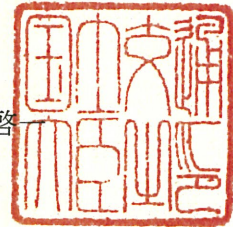


# 認定書

国住指第 1003 号  
平成 29 年 7 月 26 日

株式会社エーアンドエーマテリアル  
代表取締役社長 巻野 徹 様  
昭和電工建材株式会社  
代表取締役社長 寺田 徹 様  
フネンアクロス株式会社  
代表取締役 深堀 光二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0928
2. 認定をした構造方法等の名称  
繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／ロックウール充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／ロックウール充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ213mm以下)
	面積	0.0357m <sup>2</sup> 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5～15mm
占積率		90.0%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0046、 FP060NP-0049、FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、 FP060NP-0192、FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、 FP060NP-0294、FP060NP-0345、FP060NP-0360) 厚さ42mm以上

## 3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	ロックウール(JIS A 9504)
	密度	150kg/m <sup>3</sup> 以上
	充てん量	壁と配管との隙間に密に充てん(壁厚方向に42mm以上)
シート材	材料	あり又はなし ①又は② ①アルミニウムはく張ガラスクロステープ(アクリル系粘着剤付) ②アルミニウムはくテープ(アクリル系粘着剤付)
	寸法	材料① a) アルミニウムはく 厚さ：0.05mm以上 b) ガラスクロス(JIS R 3414) 厚さ：0.09mm以上 材料② a) アルミニウムはく 厚さ：0.05mm以上
	使用箇所	必要に応じて、充てん材の片面側を被覆する

表3 配管の仕様

項目		仕様		
給水管・排水管(以下、配管という)	耐火二層管	外管	材料	繊維混入セメントモルタル
		形状	円筒	
		組成 (質量%)	ポルトランドセメント (JIS R 5210)	70 (±10)
			無機質混和剤・軽量骨材	25 (±8)
		密度	有機繊維	5 (±2)
			ただし、無機質混和材：炭酸カルシウム、石灰質、けい酸質繊維等 軽量骨材：パーライト、凝灰岩系天然ガラス等 有機質繊維：セルロース、パルプ、合成繊維等	
	寸法	呼び径	20～150 [近似外径φ38～183 mm]	
		厚さ	5.5～7.5 mm	
	内管	材料	種類：①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP 又は VU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798) (RF-VP)	
		寸法	呼び径	20～150 [基本寸法φ26～φ165mm]
	空間成形材	材料	厚さ	1.8～9.6mm
			形状	シート又はリング
		あり又はなし		
		種類：①～③の一		
		①人造鉱物繊維保温材 (JIS A 9504)		
		厚さ 6 mm以下		
		密度 30kg/m <sup>3</sup> 以上		
		②合成樹脂 (合成ゴム、ポリプロピレン系、ポリエステル系等)		
		厚さ 2 mm以下		
		③発泡プラスチック (ポリスチレン、ポリプロピレン、ポリエチレン等)		
		(JIS A 9511)		
		厚さ 2 mm以下		

4. 構造説明図：

構造説明図を図1に示す。

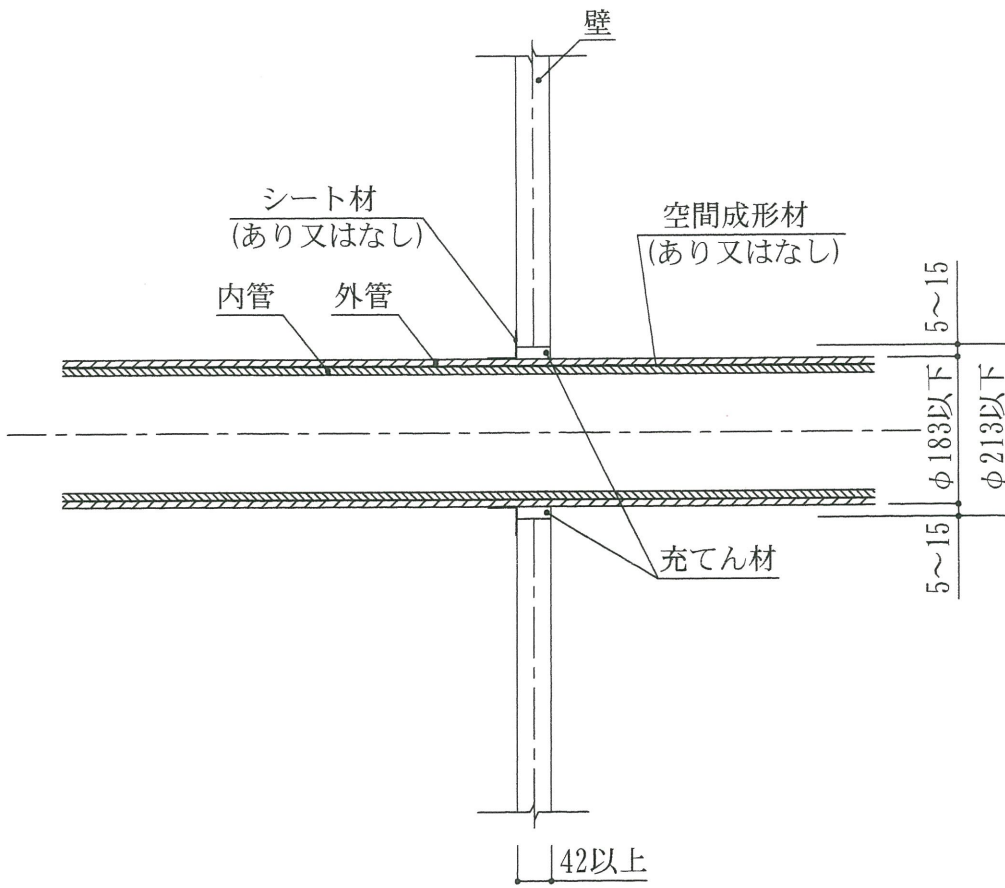
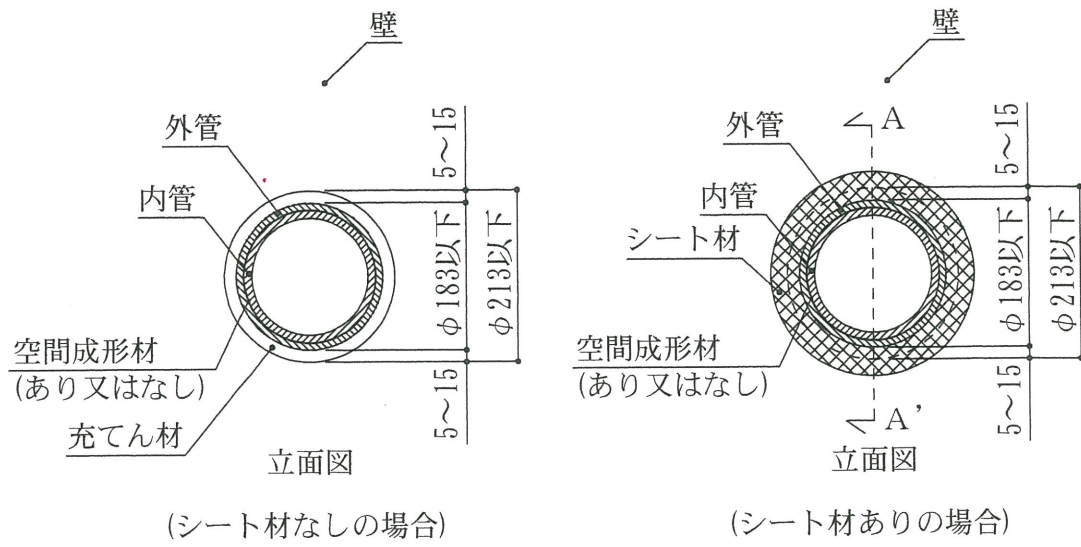


図1 構造説明図 (施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

① 配管材料の受入とサイズ・数量の確認及び運搬・保管

〔受入とサイズ・数量の確認〕

受入時は、表示された品名、呼び径、数量などが適合しているかを確認する。

② 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズ・本数を調べ、開口面積・占積率を確認する。

③ 貫通部の埋め戻し

配管と開口部の隙間に充てん材(ロックウール)を密に充てんする。また、施工上必要な場合は表面に盛り上げ又は片面アルミガラスクロステープ又はアルミテープ仕上げ施工とする。